



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

2011年6月26日 No.756

事務所:品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674



共産党 品川

検索

保育園・
学校など

放射性物質が検出

品川区は「心配ない」と言うけど...

大気の放射線量および土壌の放射性物質の測定結果(6月13日測定分)

		測定場所	単位: $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシベルト毎時)		
大気の放射線量		品川保健センター(北品川3)	0.074		
		荏原保健センター(荏原2)	0.057		
		測定場所	単位: Bq/kg (ベクレル毎キログラム)		
			セシウム 134	セシウム 137	ヨウ素 131
公共施設 土壌の 放射性物質	小学校	●●小学校校庭(大井6)	28	30	検出されず
		小中一貫 ■■学園校庭(平塚3)	46	53	検出されず
	保育園	▲▲保育園園庭(東品川1)	53	62	検出されず
		●■保育園園庭(豊町1)	12	14	検出されず
	公園	●▲区民公園砂場(勝島3)	41	42	検出されず
		■●公園砂場(西品川1)	23	19	検出されず
プールの放射性物質		■▲小学校(東品川3)	検出されず	検出されず	検出されず
		▲●小学校(旗の台4)	検出されず	検出されず	検出されず



福島原発事故後、独自に放射線量を測定する自治体が増えていきます。品川区も6月13日から週1回、区内の大気、土壌、屋外プールの放射線量を測定し、ホームページで測定結果を公開しています。放射線などへの区民の不安に答えて実施したものです。

大気の測定結果は測定日の翌日に、土壌とプールは測定日の3日～4日後に公表します。

測定内容は、大気の放射線量については品川保健センターと荏原保健センターで地表から1メートル地点。放射性物質測定は小学校と幼稚園・保育園、公園を各2ヶ所ローテーションで土壌を、プールは小中学校の屋外プールを測定します。

6月13日に実施した第1回の測定(上表の測定結果参照)ではプールの水から放射性物質は検出されませんでした。大気の放射線量と土壌の放射性物質について品川区は、大気の放射線量は国際放射線防護委員会の勧告より低い。小中学校・保育園・公園の土壌の放射性物質は日本人の1ヶ月のコメ摂取量で受ける放射線量より低いので心配ないと説明しています。

きめ細かい
測定を

放射線を住民が 浴びない対策必要

福島第1原発事故による高い放射線量が都内など首都圏でも検出され、住民に不安が広まっています。放射線量などの測定にとどまらず、被ばくによる影響を少しでも減らすために行政は取り組む必要があります。

東京23区でも東部を中心に放射線量が年間換算で1ミリシーベルトを超える地域があり、葛飾区では最高3ミリシーベルトを超える地点もありました。福島原発から放出された放射性物質が、風や雲の流れによってかなりの量が降下したとみられています。特に、公園の草むらや砂場などは放射性物質が残留しやすく、子どもが集まる場所ほど放射線量が高くなっている可能性があります。

品川区が実施する放射性物質などの測定は、公共施設をローテーションで行うもので区内のごく一部です。子どもが放射線の影響を受けやすいといわれま

いまこそ 原発から撤退を！

福島第一原発の事故は、ひとたび大量の放射性物質が放出されれば被害は深刻。広範囲かつ将来にわたって影響を及ぼしてしまうという、原発の危険性を事実をもって明らかにしました。現在の原発技術は未完成で極めて危険です。原発のばく大な放射性物質を完全に閉じ込める技術がないのです。

世界有数の地震・津波国の日本で原発を建設することは無謀です。歴代政府が「安全神話」につかって警告を無視し安全対策をとらなかった責任は重大です。日本共産党は、政府が期限を決めて原発から撤退するよう求めています。



す。放射線測定器は全ての保育園、小中学校に配布して毎日測定することが必要です。

放射線は被ばく線量が低くても健康への影響はありますが、被ばく線量が低ければ低いほどがんの発症や遺伝的影響が出る確率も低くなるといわれています。そのため、行政には子どもたちや住民が少しでも放射線を浴びない対策をとることも求められます。

お困りのときは お気軽にご相談ください

●くらし・区政の相談はいつでも受付けます。

●無料法律相談は7月15日(金)
弁護士が対応します Pm6:30~です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所

品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674